

### 3 現在の裾野市の取り組みについて

問3 市では次のような取り組みを行っています。それぞれの項目について、あなたはどの程度満足していますか。また、その取り組みは重要であると思いますか。  
 (満足度については番号に、重要度についてはアルファベットに、それぞれは1つずつ)

ここで挙げる項目は、第3次裾野市総合計画後期計画に定められた施策と対応します。(下表参照)

#### みんなの健康 互いの福祉 人づくりと文化を世界に誇る(健康・福祉・教育分野)

施 策		設 問 項 目	
1-1-1	健康づくりの推進	1	心身ともに健康で充実した生活を送る
1-1-2	保健・医療・福祉の連携	2	必要な時に適切な医療が受けられる
1-1-3	市民スポーツ・レクリエーションの推進	3	スポーツを習慣にした生活を送る
1-2-1	高齢者が生き生きできる福祉の推進	4	高齢者が自立して元気に生き生き暮らす
1-2-2	ハンディキャップを克服できる福祉の推進	5	障害のある人の社会参加と自立
1-2-3 1-2-4	自立できる生活の充実 ボランティアで支える地域福祉の推進	6	地域住民が共に支えあって暮らす
1-2-5	子育て環境の充実	7	安心して子育てと就労が両立できる
1-3-1	人間性豊かな子どもを育てる教育の充実	8	人間性豊かな子どもを育てる教育
1-4-1 1-5-1	自ら学ぶ環境の充実 富士山を象徴とする文化の育成	9	生涯学習や文化活動の機会や場所
1-4-2	次世代を担う青少年の育成	10	次世代を担う健全な青少年を育てる
1-6-1	コミュニティ活動の充実	11	地域コミュニティ活動の活発化

#### 人と自然が調和した環境快適都市(自然・環境・都市基盤・安全分野)

施 策		設 問 項 目	
2-1-1	美しいまち景観の創出	12	恵まれた自然景観の活用
2-1-2	きれいな環境の維持・創出	13	ごみ不法投棄や公害への対策
2-1-3	リサイクルの推進	14	リサイクル活動
2-2-1 2-2-2	緑豊かな環境の充実 公園・広場の充実	15	身近な緑の環境
2-3-1	水に親しむ空間の充実	16	きれいな川を守り、水に親しむ
2-3-2	山や川の災害を防ぐ	17	山や川の災害を防ぐ
2-4-1 2-4-2	安全な水の確保と水資源の有効活用 きれいな水の流れる環境の創出	18	上・下水道事業

施 策		設 問 項 目	
2-5-1	裾野駅周辺の市街地整備の推進 周辺部の拠点整備の推進	19	裾野の顔となる拠点市街地の整備
2-5-2			
2-6-1	住みよい住環境の充実	20	誰もが住みやすい住環境の整備
2-6-2	バランスのとれた土地利用配置	21	適切な土地利用がされている
2-7-1	便利で快適な道路網の充実	22	道路網の便利さ、快適さ
2-7-2	生活に便利な交通機関の充実	23	鉄道・バスの便利さ
2-8-1	地震災害対策の充実	24	地震災害対策
2-8-2	消防・救急体制の強化	25	消防・救急体制
2-8-3	犯罪からまちを守る対策の充実	26	犯罪からまちを守る
2-8-4	安全な交通環境の充実	27	交通安全対策
2-8-5	安全で豊かな消費生活の確保	28	安全で豊かな消費生活

新世紀を支える地域産業のパワーアップ（地域産業分野）

施 策		設 問 項 目	
3-1-1-1	農業維持の体制づくり 林業の振興の充実	29	農林業の活性化
3-1-1-2			
3-2-1	緑豊かな工業地の確保 先進企業の誘致と地場産業の育成	30	先進企業を核とした地場産業の活性化
3-2-2			
3-3-1	にぎわいのある商業地の整備 創意と工夫による商業の振興	31	にぎわいのある商業地づくり
3-3-2			
3-4-1	新たな観光の創出 観光による地域の活性化	32	新たな観光地づくり
3-4-2			
3-5-1	裾野の魅力のPR	33	裾野市の全国に向けたアピール
3-5-2	時代に対応した情報の発信	34	時代に対応した情報の発信

頑張る市民・支える市役所（市民主体・行財政分野）

施 策		設 問 項 目	
4-1-1	市民の協働を目指した市民参加の推進	35	市民と行政の協働によるまちづくり
4-1-2	男女共同参画社会の推進	36	男女共同参画社会
4-1-3	透明性の高い行政運営の実現 開かれた議会活動の支援 有効で効率的な行政運営確立 活力ある組織人事の推進 広域行政における連携の強化	37	市民のための行政サービス
4-1-4			
4-2-1			
4-2-3			
4-2-4			
4-2-2	健全な財政運営の確保	38	健全な財政運営

(1) 現状の評価と今後の重要度

現状の評価と今後の重要度を下表に示すように点数化し、その程度を分析しました。

現状の評価基準

項目	点数
満足	2点
まあ満足	1点
どちらともいえない	0点
やや不満	-1点
不満	-2点

重要度の評価基準

項目	点数
とても重要	2点
重要	1点
それほどでもない	0点

みんなの健康 互いの福祉 人づくりと文化を世界に誇る(健康・福祉・教育分野)

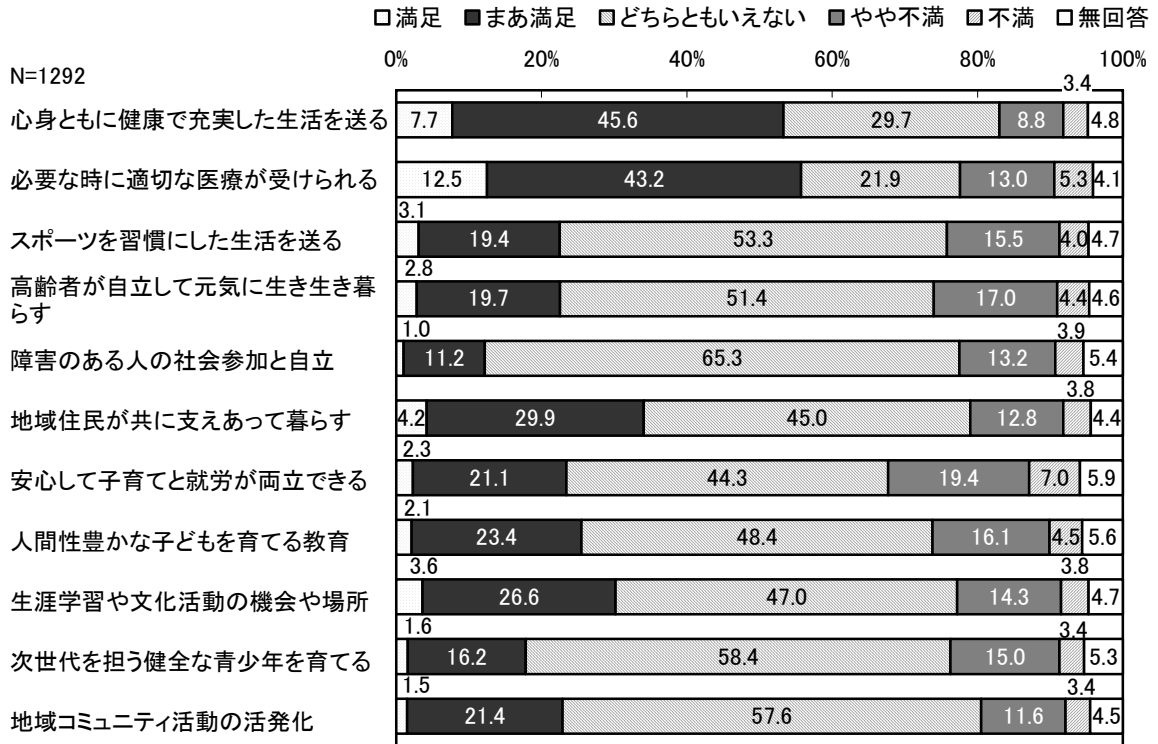
- ◆5割以上が『心身ともに健康で充実した生活を送る』、『必要な時に適切な医療が受けられる』ことに満足している
- ◆『必要な時に適切な医療が受けられる』ことについて、「とても重要」の割合が7割以上
- ◆『高齢者が自立して元気に生き生き暮らす』、『安心して子育てと就労が両立できる』、『人間性豊かな子どもを育てる教育』で現状の満足度と今後の重要度の差が大きい

満足度については、『心身ともに健康で充実した生活を送る』、『必要な時に適切な医療が受けられる』に対し、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足している人の割合が高く、5割以上となっています。

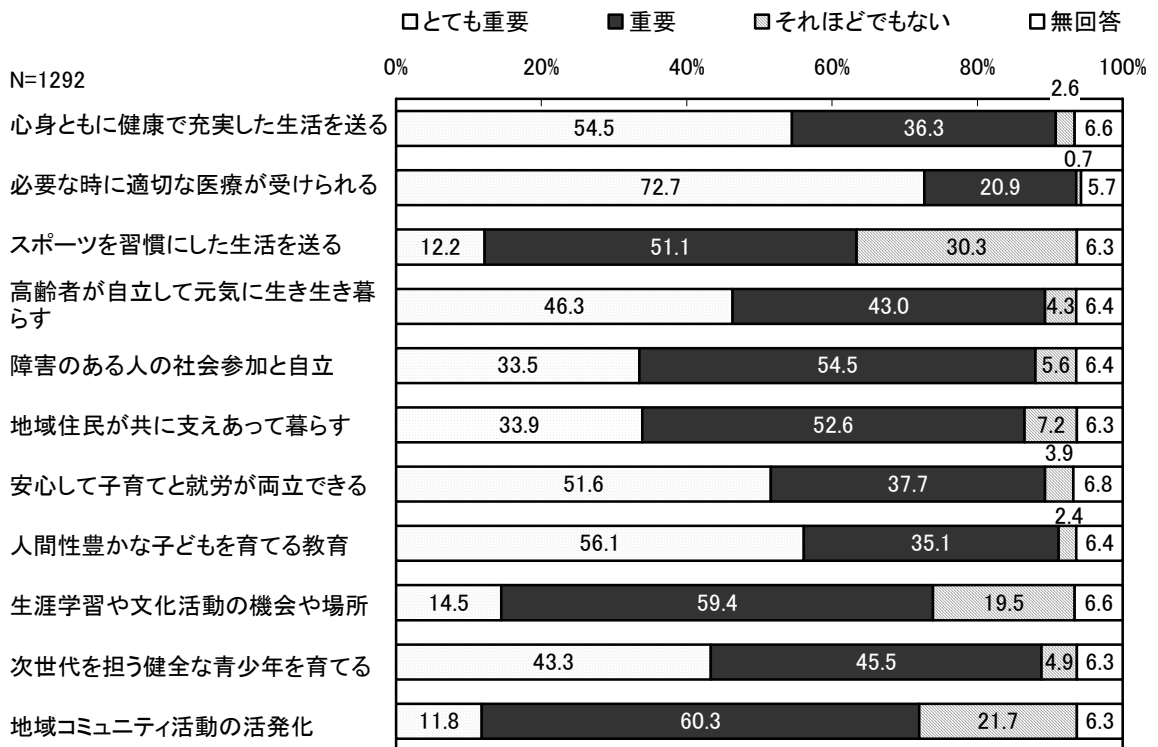
重要度については、『心身ともに健康で充実した生活を送る』、『必要な時に適切な医療が受けられる』、『人間性豊かな子どもを育てる教育』に対し、「とても重要」と「重要」をあわせた重要だと感じている人の割合が高く、9割以上となっており、特に、『必要な時に適切な医療が受けられる』では、「とても重要」の割合が72.7%と高くなっています。

現状の評価と今後の重要度については、『高齢者が自立して元気に生き生き暮らす』、『安心して子育てと就労が両立できる』、『人間性豊かな子どもを育てる教育』で満足度と重要度の差が大きくなっています。また、平成20年度と比較すると、『安心して子育てと就労が両立できる』では、他の項目に比べ、平成20年度の満足度を大きく下回っています。重要度については、ほぼ同様の割合となっています。

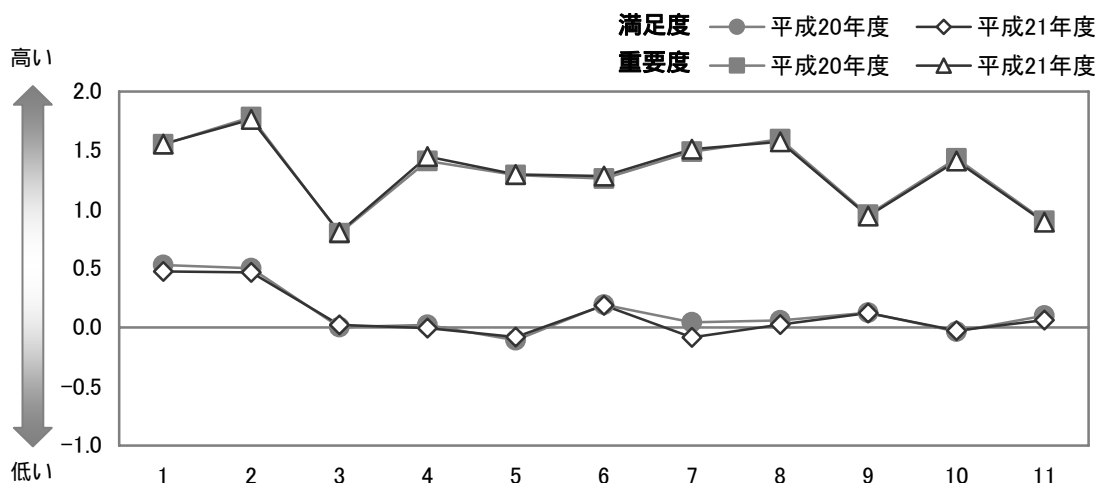
【満足度】



【重要度】



【現状の評価と今後の重要度】



1	心身ともに健康で充実した生活を送る	7	安心して子育てと就労が両立できる
2	必要な時に適切な医療が受けられる	8	人間性豊かな子どもを育てる教育
3	スポーツを習慣にした生活を送る	9	生涯学習や文化活動の機会や場所
4	高齢者が自立して元気に生き生き暮らす	10	次世代を担う健全な青少年を育てる
5	障害のある人の社会参加と自立	11	地域コミュニティ活動の活発化
6	地域住民が共に支えあって暮らす		

人と自然が調和した環境快適都市（自然・環境・都市基盤・安全分野）

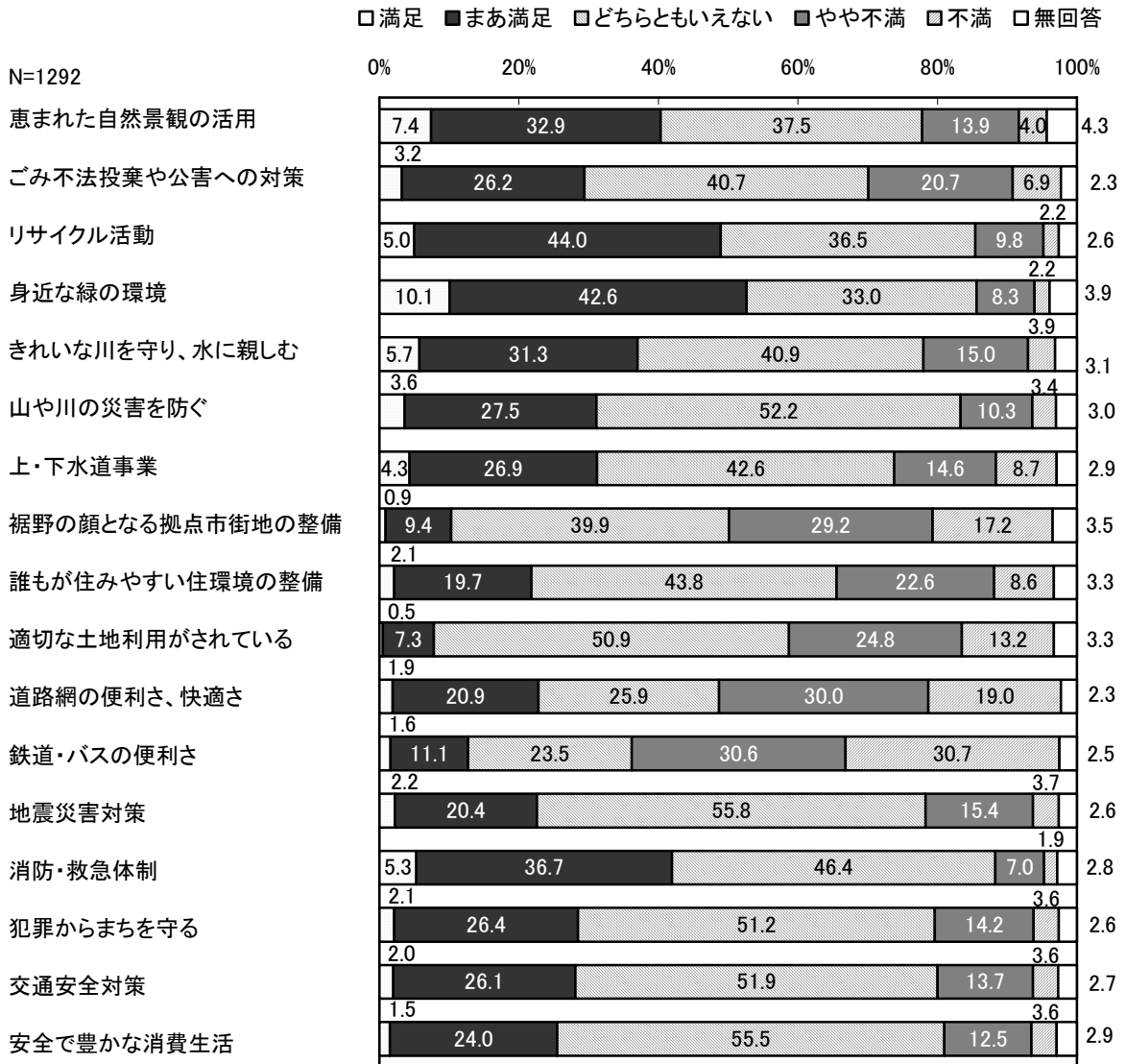
- ◆5割以上が『身近な緑の環境』に満足している
- ◆『地震災害対策』、『消防・救急体制』、『犯罪からまちを守る』ことについて、「とても重要」の割合が5割以上
- ◆『ごみ不法投棄や公害への対策』、『地震災害対策』、『犯罪からまちを守る』で現状の満足度と今後の重要度の差が大きい

満足度については、『身近な緑の環境』に対し、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足している人の割合が高く、5割以上となっています。また、『恵まれた自然景観の活用』、『リサイクル活動』、『消防・救急体制』においても、4割以上となっています。一方で、『鉄道・バスの便利さ』に対し、「やや不満」と「不満」をあわせた満足していない人の割合が高く、約6割となっています。

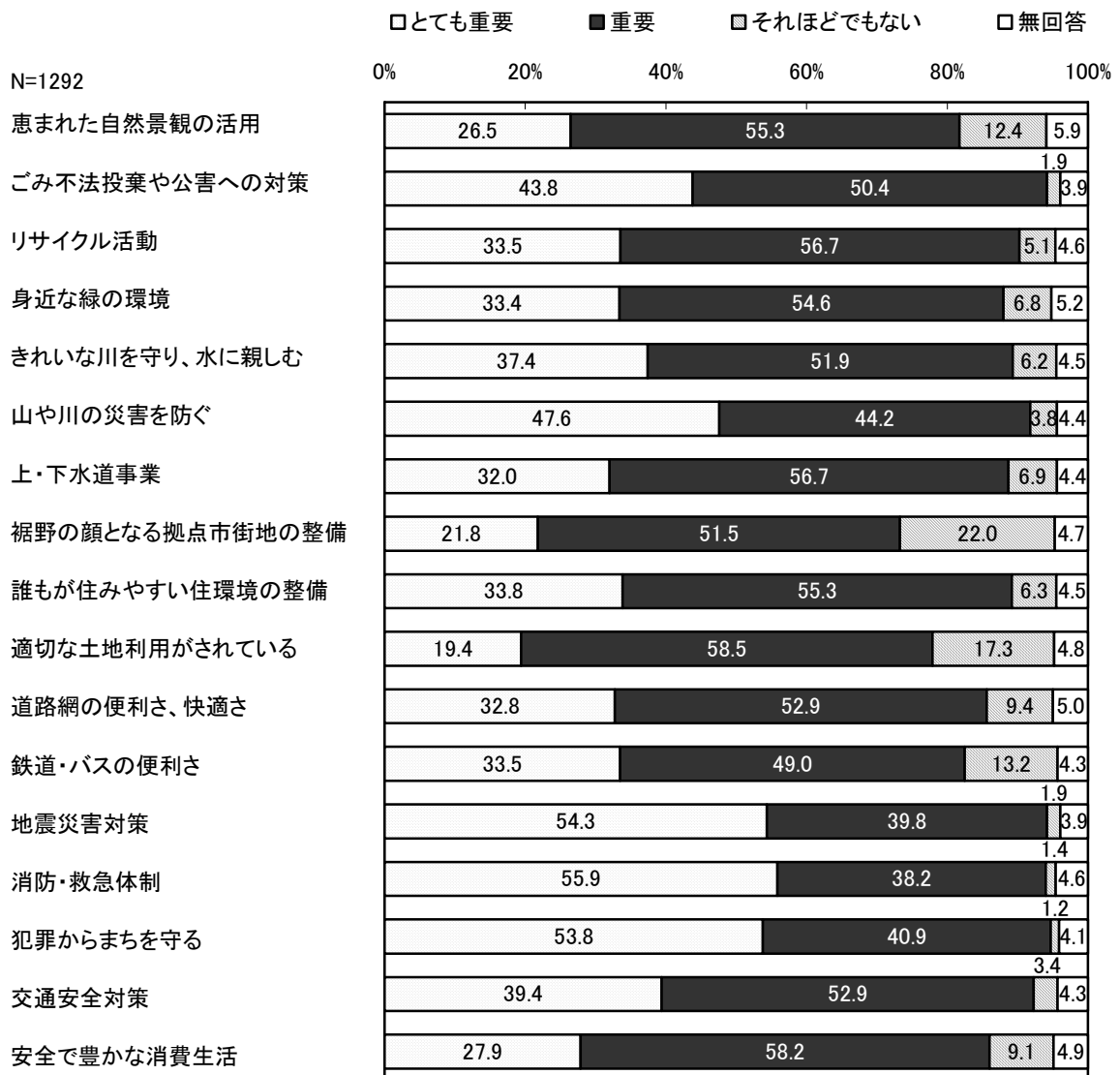
重要度については、『裾野の顔となる拠点市街地の整備』、『適切な土地利用がされている』を除く全ての項目で、「とても重要」と「重要」をあわせた重要だと感じている人の割合が高く、8割以上となっており、特に、『地震災害対策』、『消防・救急体制』、『犯罪からまちを守る』では、「とても重要」の割合が5割以上と高くなっています。

現状の評価と今後の重要度については、『ごみ不法投棄や公害への対策』、『地震災害対策』、『犯罪からまちを守る』で満足度と重要度の差が大きくなっています。また、平成20年度と比較すると、全ての項目において、平成20年度の満足度を上回っています。重要度については、ほぼ同様の割合となっています。

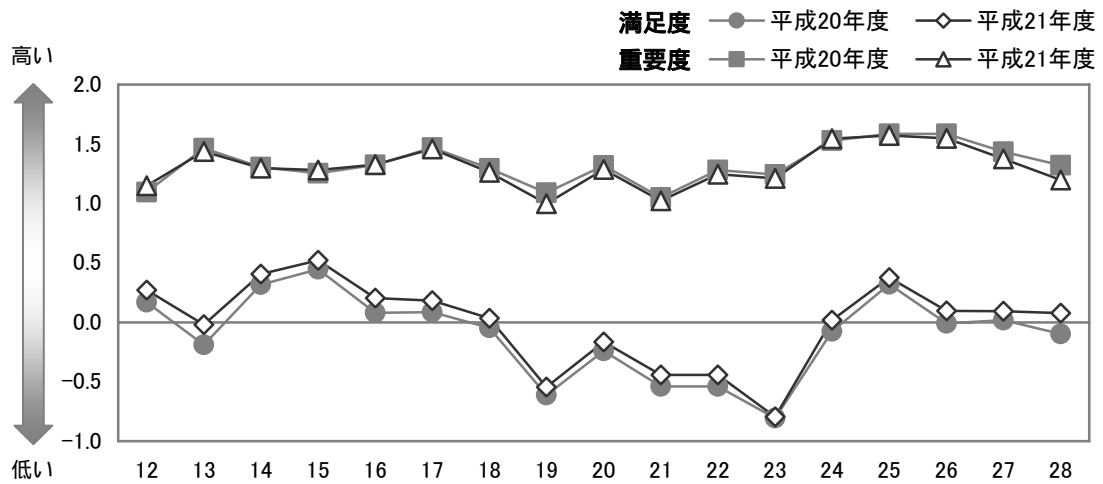
【満足度】



【重要度】



【現状の評価と今後の重要度】



12	恵まれた自然景観の活用	21	適切な土地利用がされている
13	ごみ不法投棄や公害への対策	22	道路網の便利さ、快適さ
14	リサイクル活動	23	鉄道・バスの便利さ
15	身近な緑の環境	24	地震災害対策
16	きれいな川を守り、水に親しむ	25	消防・救急体制
17	山や川の災害を防ぐ	26	犯罪からまちを守る
18	上・下水道事業	27	交通安全対策
19	裾野の顔となる拠点市街地の整備	28	安全で豊かな消費生活
20	誰もが住みやすい住環境の整備	21	適切な土地利用がされている



新世紀を支える地域産業のパワーアップ（地域産業分野）

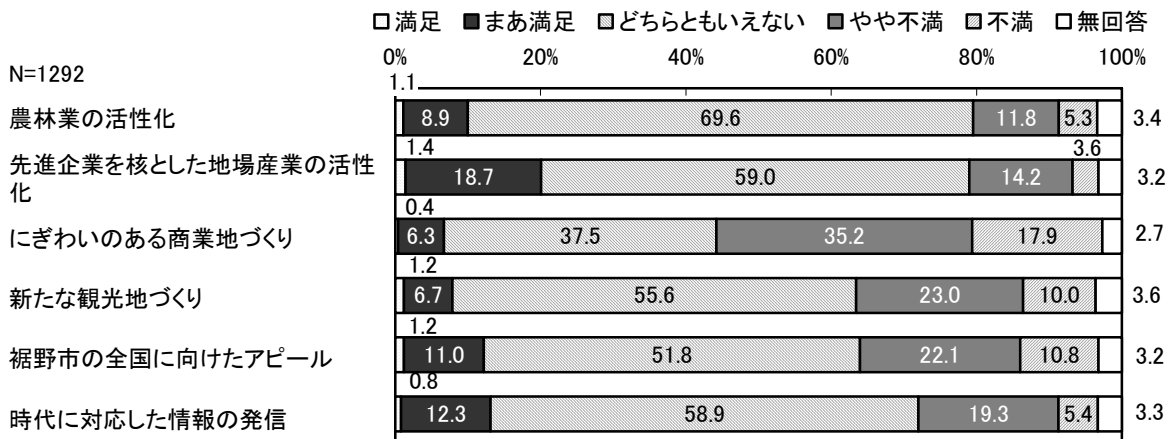
- ◆約 2 割が『先進企業を核とした地場産業の活性化』に満足している
- ◆約 5 割が『にぎわいのある商業地づくり』に不満を感じている
- ◆7 割以上が『新たな観光地づくり』、『裾野市の全国に向けたアピール』について、重要だと感じている
- ◆『農林業の活性化』、『先進企業を核とした地場産業の活性化』で現状の満足度と今後の重要度の差が大きい

満足度については、『先進企業を核とした地場産業の活性化』に対し、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足している人の割合が高く、約 2 割となっています。一方で、『にぎわいのある商業地づくり』に対し、「やや不満」と「不満」をあわせた満足していない人の割合が高く、約 5 割となっています。

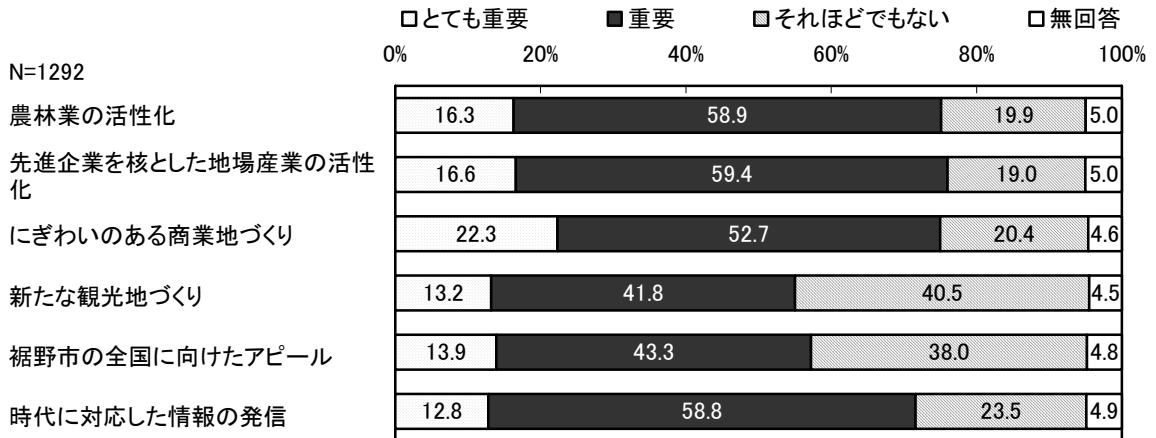
重要度については、『新たな観光地づくり』、『裾野市の全国に向けたアピール』を除く全ての項目で、「とても重要」と「重要」をあわせた重要だと感じている人の割合が高く、7 割以上となっています。

現状の評価と今後の重要度については、『農林業の活性化』、『先進企業を核とした地場産業の活性化』で満足度と重要度の差が大きくなっています。また、平成 20 年度と比較すると、全ての項目において、平成 20 年度の満足度を下回っており、特に『農林業の活性化』、『先進企業を核とした地場産業の活性化』で、その差が大きくなっています。重要度については、ほぼ同様の割合となっています。

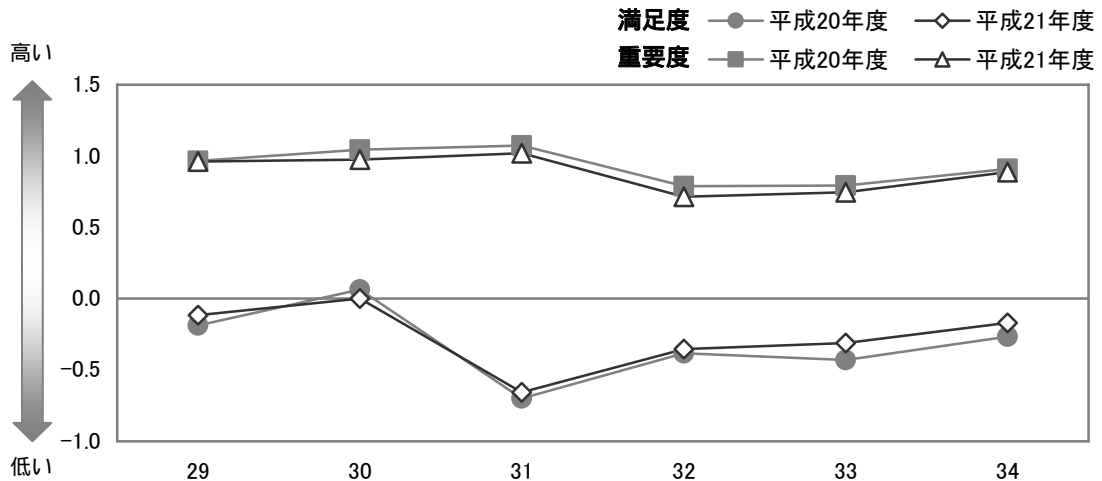
【満足度】



【重要度】



【現状の評価と今後の重要度】



29	農林業の活性化	32	新たな観光地づくり
30	先進企業を核とした地場産業の活性化	33	裾野市の全国に向けたアピール
31	にぎわいのある商業地づくり	34	時代に対応した情報の発信

頑張る市民・支える市役所（市民主体・行財政分野）

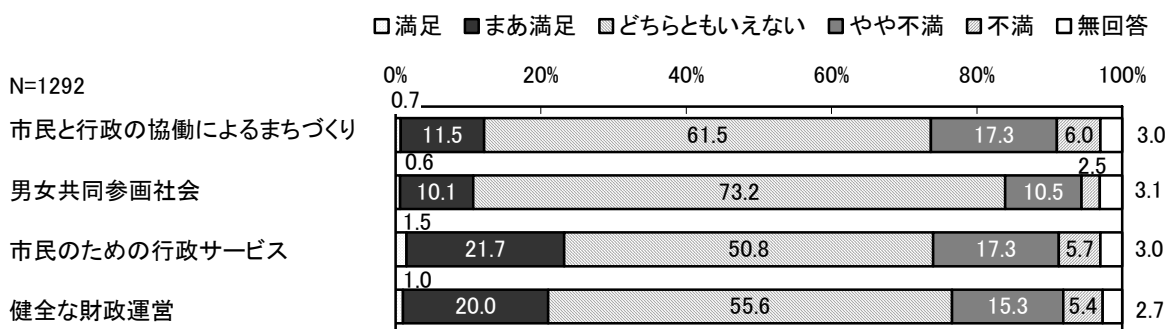
- ◆約 2 割が『市民のための行政サービス』、『健全な財政運営』に満足している
- ◆9 割以上が『健全な財政運営』について、重要だと感じている
- ◆『男女共同参画社会』、『市民のための行政サービス』について、「とても重要」の割合が 5 割以上
- ◆『健全な財政運営』で現状の満足度と今後の重要度の差が大きい

満足度については、『市民のための行政サービス』、『健全な財政運営』に対し、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足している人の割合が高く、約 2 割となっています。一方で、『にぎわいのある商業地づくり』に対し、「やや不満」と「不満」をあわせた満足していない人の割合が高く、約 5 割となっています。

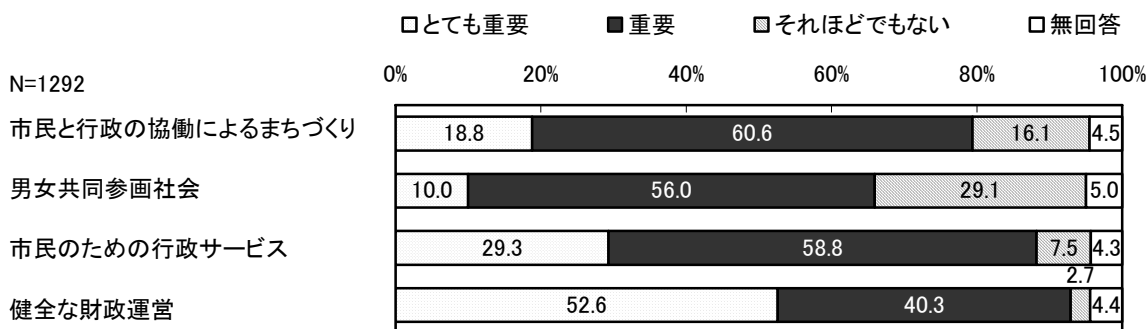
重要度については、『健全な財政運営』に対し、「とても重要」と「重要」をあわせた重要だと感じている人の割合が高く、約 9 割となっています。また、『男女共同参画社会』、『市民のための行政サービス』に対し、「とても重要」の割合が高く、5 割以上となっています。

現状の評価と今後の重要度については、『健全な財政運営』で満足度と重要度の差が大きくなっています。また、平成 20 年度と比較すると、全ての項目において、平成 20 年度の満足度を上回っており、特に『市民のための行政サービス』、『健全な財政運営』で、その差が大きくなっています。重要度については、ほぼ同様の割合となっています。

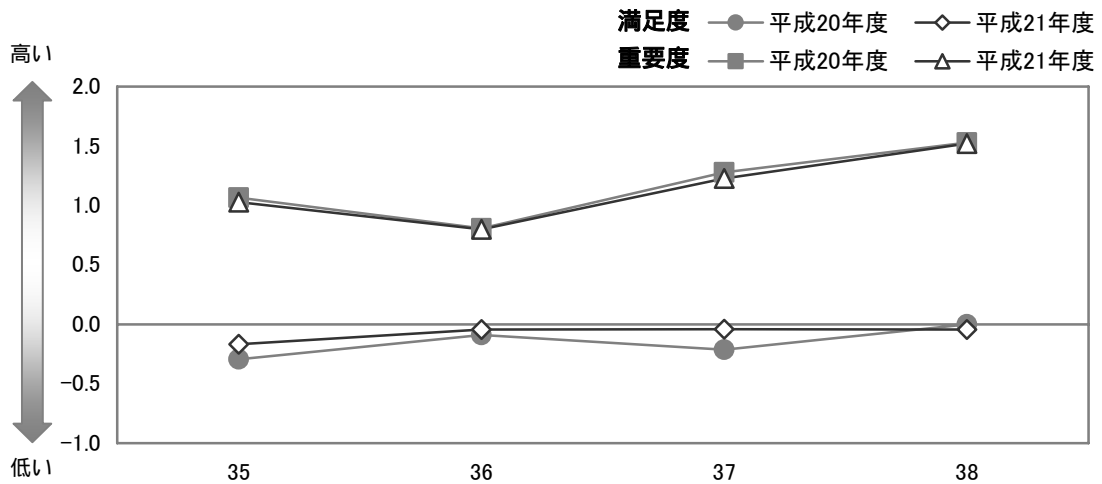
【満足度】



【重要度】



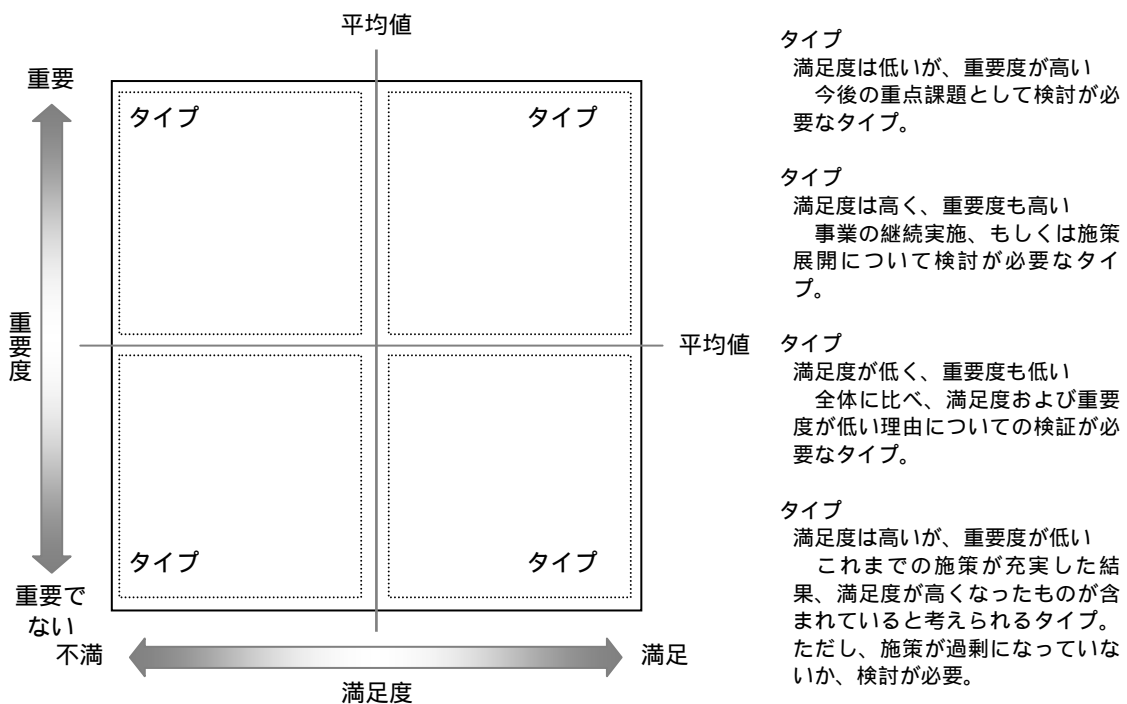
【現状の評価と今後の重要度】



35	市民と行政の協働によるまちづくり	37	市民のための行政サービス
36	男女共同参画社会	38	健全な財政運営

(2) ポートフォリオによる現状評価と重要度の評価

各項目の満足度と重要度のポイントの関係について、下図のとおり分布図を作成し、今後の施策の方向性を分析しました。

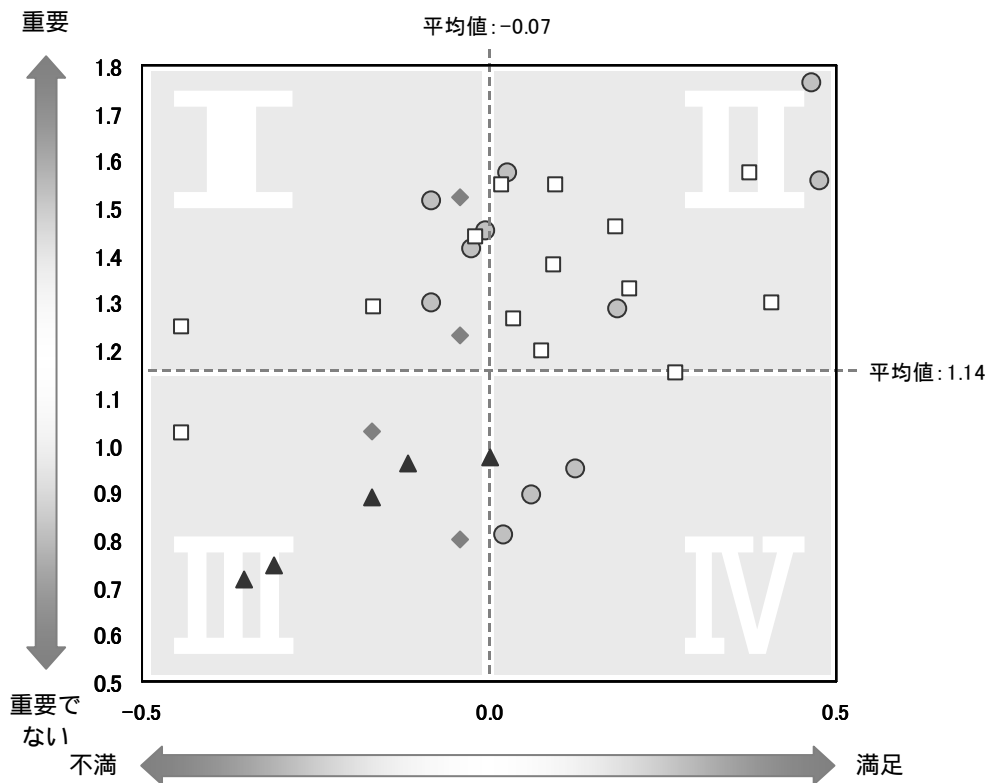


ポートフォリオによる現状評価と重要度の評価

- ◆健康・福祉・教育分野、自然・環境・都市基盤・安全分野がタイプⅠ、タイプⅡに分布
- ◆地域産業分野の取り組みがタイプⅢに分布

ポートフォリオによる現状評価と重要度の評価については、健康・福祉・教育分野、自然・環境・都市基盤・安全分野の取り組みは重要度が高い傾向にあり、今後の重点課題として検討が必要なタイプⅠ、事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプⅡに分布しています。

また、地域産業分野の取り組みは、満足度、重要度ともに低い傾向にあり、全体に比べ、満足度および重要度が低い理由についての検証が必要であるタイプⅢに分布しています。



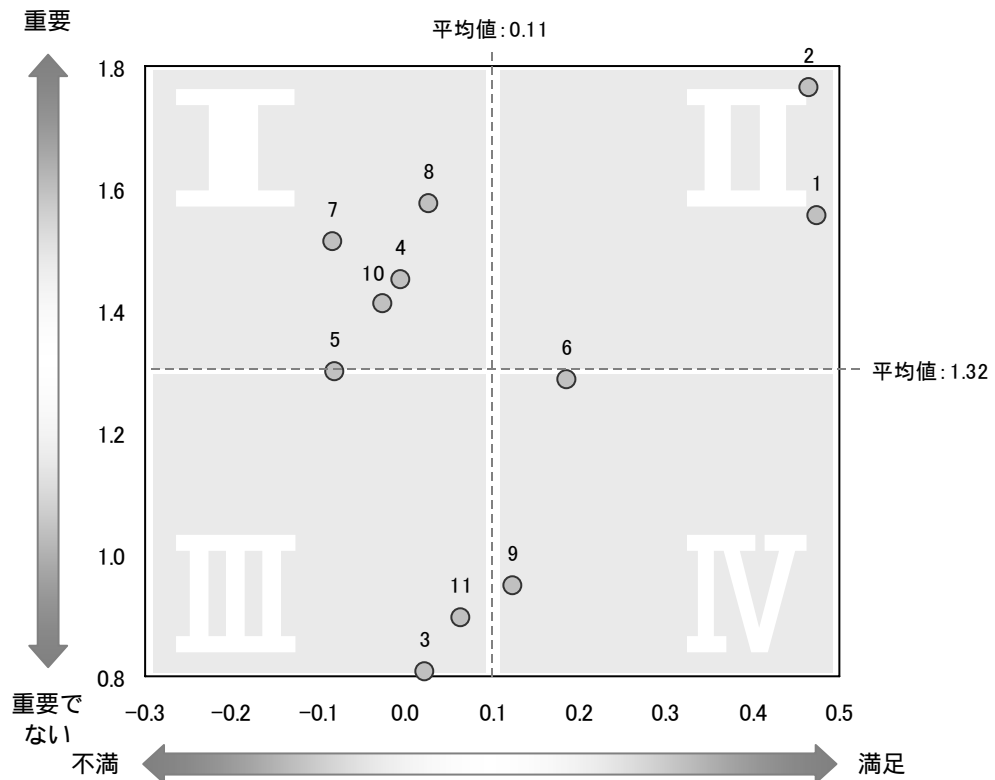
- みんなの健康 互いの福祉 人づくりと文化を世界に誇る（健康・福祉・教育分野）
- 人と自然が調和した環境快適都市（自然・環境・都市基盤・安全分野）
- ▲ 新世紀を支える地域産業のパワーアップ（地域産業分野）
- ◆ 頑張る市民・支える市役所（市民主体・行財政分野）

みんなの健康 互いの福祉 人づくりと文化を世界に誇る（健康・福祉・教育分野）

◆主に満足度は低いが、重要度が高いタイプⅠ、満足度が低く、重要度も低いタイプⅢに分布

健康・福祉・教育分野のポートフォリオによる現状評価と重要度の評価については、「4. 高齢者が自立して元気に生き生き暮らす」、「7. 安心して子育てと就労が両立できる」、「8. 人間性豊かな子どもを育てる教育」、「10. 次世代を担う健全な青少年を育てる」が今後の重点課題として検討が必要なタイプⅠに分布しています。

「3. スポーツを習慣にした生活を送る」、「5. 障害のある人の社会参加と自立」、「11. 地域コミュニティ活動の活発化」は満足度、重要度ともに低く、全体に比べ、満足度および重要度が低い理由についての検証が必要なタイプⅢに分布しています。



タイプⅠ：満足度は低いが、重要度が高い	
4	高齢者が自立して元気に生き生き暮らす
7	安心して子育てと就労が両立できる
8	人間性豊かな子どもを育てる教育
10	次世代を担う健全な青少年を育てる
タイプⅡ：満足度は高く、重要度も高い	
1	心身ともに健康で充実した生活を送る
2	必要な時に適切な医療が受けられる

タイプ : 満足度が低く、重要度も低い	
3	スポーツを習慣にした生活を送る
5	障害のある人の社会参加と自立
11	地域コミュニティ活動の活発化

タイプ : 満足度は高いが、重要度が低い	
6	地域住民が共に支えあって暮らす
9	生涯学習や文化活動の機会や場所

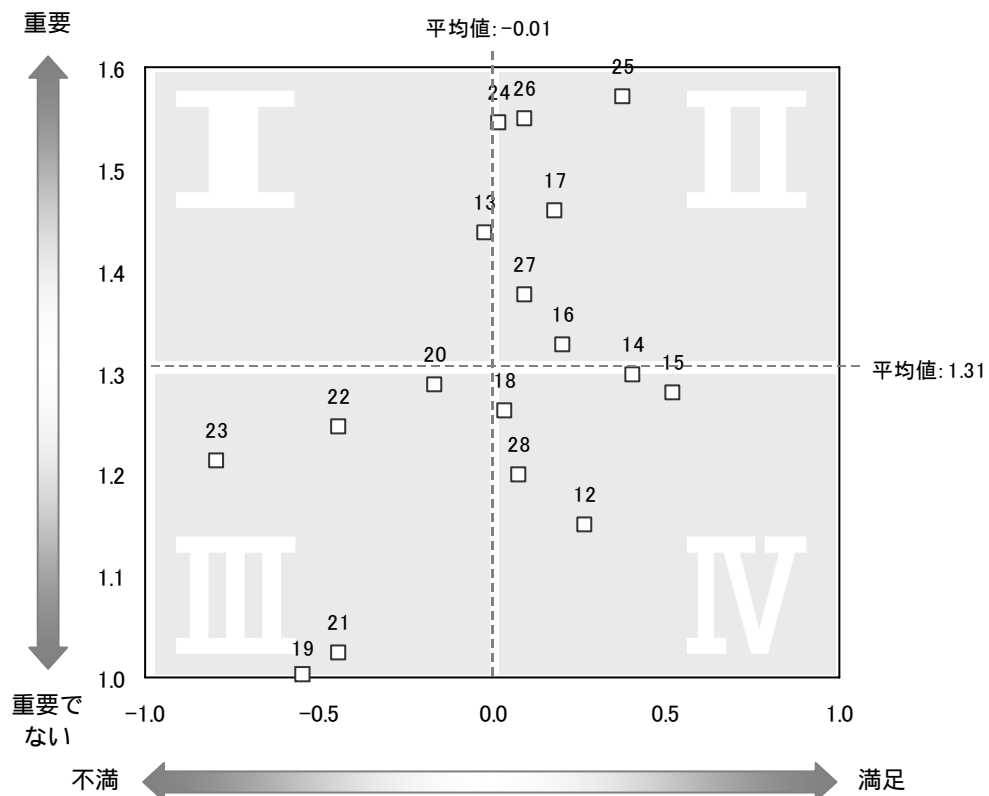
人と自然が調和した環境快適都市（自然・環境・都市基盤・安全分野）

◆主に満足度は高く、重要度も高いタイプⅡ、満足度が低く、重要度も低いタイプⅢ、満足度は高いが、重要度が低いタイプⅣに分布

自然・環境・都市基盤・安全分野のポートフォリオによる現状評価と重要度の評価については、「13. ごみ不法投棄や公害への対策」が今後の重点課題として検討が必要なタイプ に分布しています。

「19. 裾野の顔となる拠点市街地の整備」、「20. 誰もが住みやすい住環境の整備」、「21. 適切な土地利用がされている」、「22. 道路網の便利さ、快適さ」、「23. 鉄道・バスの便利さ」は満足度、重要度ともに低く、全体に比べ、満足度および重要度が低い理由についての検証が必要なタイプ に分布しています。

「12. 恵まれた自然景観の活用」、「14. リサイクル活動」、「15. 身近な緑の環境」、「18. 上・下水道事業」、「28. 安全で豊かな消費生活」はこれまでの施策が充実した結果、満足度が高くなったものが含まれていると考えられますが、重要度が低く、施策が過剰になっていないかといった検討が必要なタイプ に分布しています。



タイプ : 満足度は低いが、重要度が高い	
13	ごみ不法投棄や公害への対策

タイプ : 満足度は高く、重要度も高い	
16	きれいな川を守り、水に親しむ
17	山や川の災害を防ぐ
24	地震災害対策
25	消防・救急体制
26	犯罪からまちを守る
27	交通安全対策

タイプ : 満足度が低く、重要度も低い	
19	裾野の顔となる拠点市街地の整備
20	誰もが住みやすい住環境の整備
21	適切な土地利用がされている
22	道路網の便利さ、快適さ
23	鉄道・バスの便利さ

タイプ : 満足度は高いが、重要度が低い	
12	恵まれた自然景観の活用
14	リサイクル活動
15	身近な緑の環境
18	上・下水道事業
28	安全で豊かな消費生活

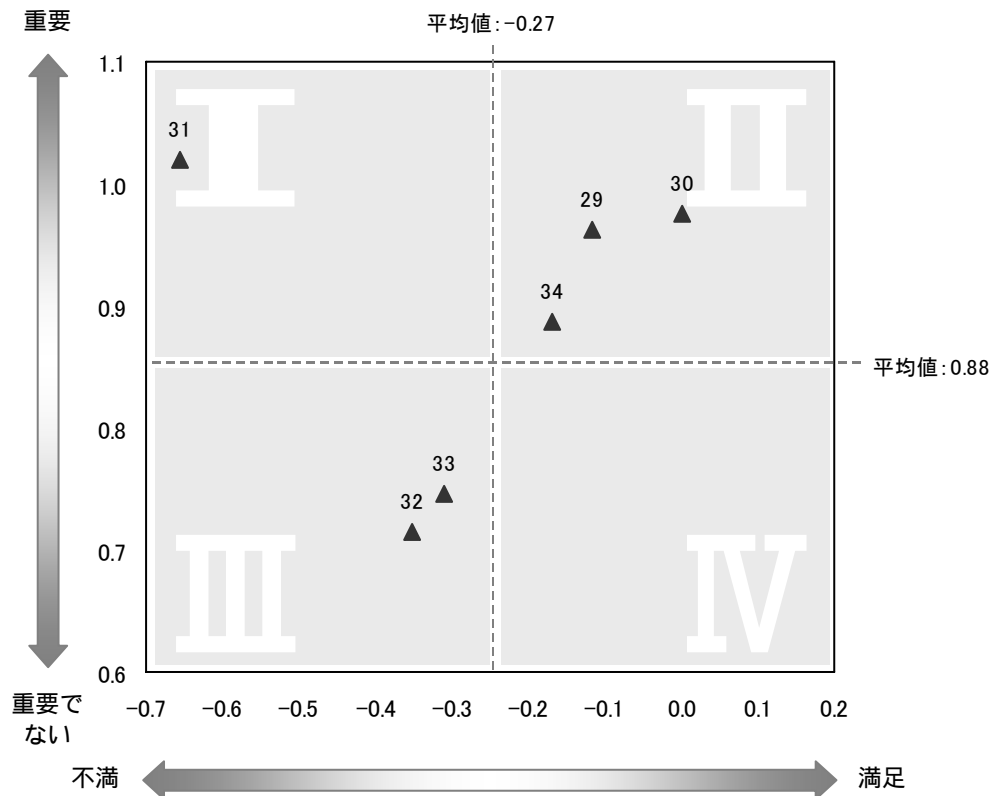


新世紀を支える地域産業のパワーアップ（地域産業分野）

◆主に満足度は高く、重要度も高いタイプⅡ、満足度が低く、重要度も低いタイプⅢに分布

地域産業分野のポートフォリオによる現状評価と重要度の評価については、「31．にぎわいのある商業地づくり」が今後の重点課題として検討が必要なタイプⅠに分布しています。

「32．新たな観光地づくり」、「33．裾野市の全国に向けたアピール」は満足度、重要度ともに低く、全体に比べ、満足度および重要度が低い理由についての検証が必要なタイプⅢに分布しています。



タイプⅠ：満足度は低いが、重要度が高い	
31	にぎわいのある商業地づくり

タイプⅡ：満足度は高く、重要度も高い	
29	農林業の活性化
30	先進企業を核とした地場産業の活性化
34	時代に対応した情報の発信

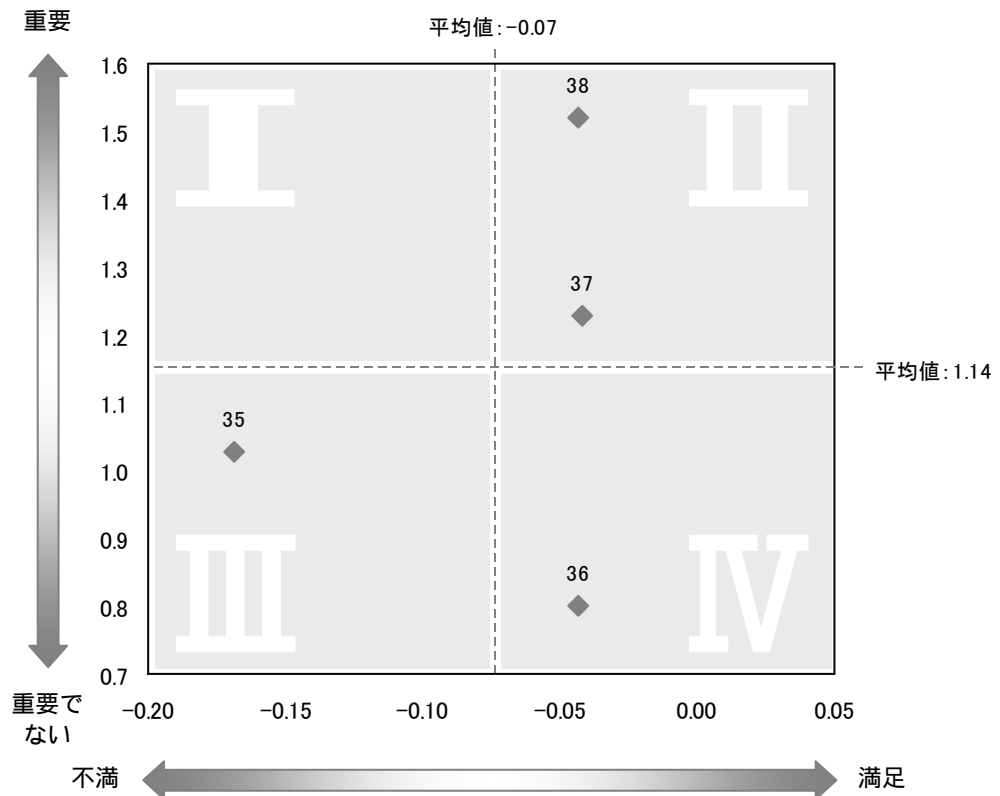
タイプⅢ：満足度が低く、重要度も低い	
32	新たな観光地づくり
33	裾野市の全国に向けたアピール

頑張る市民・支える市役所（市民主体・行財政分野）

◆主に満足度は高く、重要度も高いタイプⅡ、満足度が低く、重要度も低いタイプⅢ、満足度は高いが、重要度が低いタイプⅣに分布

地域産業分野のポートフォリオによる現状評価と重要度の評価については、「35．市民と行政の協働によるまちづくり」、「36．男女共同参画社会」は満足度、重要度ともに低く、全体に比べ、満足度および重要度が低い理由についての検証が必要なタイプに分布しています。

「36.男女共同参画社会」はこれまでの施策が充実した結果、満足度が高くなったものが含まれていると考えられますが、重要度が低く、施策が過剰になっていないかといった検討が必要なタイプ に分布しています。



タイプⅠ：満足度は高く、重要度も高い	
37	市民のための行政サービス
38	健全な財政運営
タイプⅢ：満足度が低く、重要度も低い	
35	市民と行政の協働によるまちづくり
タイプⅣ：満足度は高いが、重要度が低い	
36	男女共同参画社会

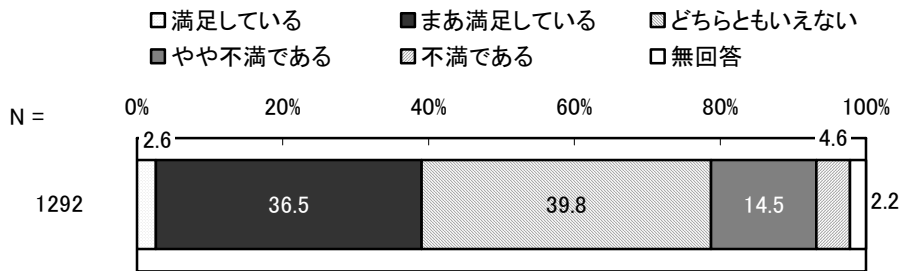
問4 市の政策全体について、どの程度満足していますか。( は1つ)

- ◆市の政策に満足している人が約4割
- ◆35～39歳、40～44歳で市の政策に満足している人が約5割
- ◆富岡、西、企業団地で市の政策に満足している人が約4割

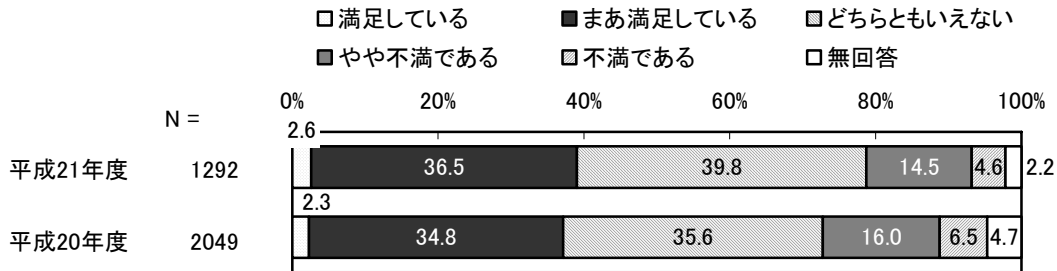
市の政策全体の満足度については、「満足している」と「まあ満足している」をあわせた市の政策に満足している人の割合が39.1%、「やや不満である」と「不満である」をあわせた市の政策に満足していない人の割合が19.1%となっています。また、平成19年度の調査と比較すると、平成19年度に比べ、平成20年度では、市の政策に満足していない人の割合に3.4ポイントの減少がみられます。

年代別でみると、他の年代に比べ、35～39歳、40～44歳で市の政策に満足している人の割合が高く、約5割となっています。

居住地区別でみると、他の地区に比べ、富岡、西、企業団地で満足している人の割合が高く、約4割となっています。



【前回・前々回調査との比較】



□満足している      ■まあ満足している      □どちらともいえない  
 ■やや不満である      □不満である      □無回答

